

表-6.8.2(5) 変遷区域内において確認された重要な種の分布及び生育状況に基づく変化の程度の検討(その3)

No.	分類群			国外、国内、沖縄県における分布状況			石垣島内における生育状況			注6 現空港予定地関連調査				重要な種の分布及び生育状況の変化の程度	指定及び選定状況					
	目	科	種	注1 国外	注2 国内	注3 沖縄県	注4 石垣島内	注5 石垣島内 の生育 状況 ランク	改変区域内 での確認		合計	法的 規制	その他							
									改変区域 外での 確認	改変区域 内での 確認			注7 天然 記念 物		注8 第2 回	注9 第3 回	注10 植物 群	注11 環境 省	注12 沖縄 県	
14	ヤシ	ヤシ	ヤエヤマヤシ	-	-	石、西	局所的(既知産地は島中部北海岸の米原のみに隔離分布)に分布し、個体数は少ないものと推定される。道路緑化樹、公園樹、庭園樹として利用されている。 [沖縄県RDB]石垣島1ヶ所(米原)、西表島に2ヶ所(星立、ウブンドル)の自生地が知られ、自生地はいずれも国指定の天然記念物になっており、今すぐ絶滅する恐れはないが、近年大形の成熟個体の枯死が目立ち、個体数は減少している。	A	1	1	2							準	危急	
15	ラン	ラン	ツルラン	台、中南、比、タイ、印支、マレーシア、ニューギニア、豪、グアム、ニューカレドニア、フィジー諸島、マダガスカル	トカラ、奄、徳、沖永、種、屋、小笠	沖、伊、平、久、慶良間、石、西、与、魚	広範に分布するが、個体数は少ないものと推定される。 [環境庁RDB]全国4457メッシュ中、現存するのは2メッシュで数個体、12メッシュで数十個体、5メッシュで数百個体、1メッシュで数千個体であり、総計約5000個体と推定される。 [沖縄県RDB]かつては極めて普通に見られたが、近年は乱獲により激減し、限られた地域以外ではほとんど見られない。	B	28	4	32								II	危急
16			ハイケイラン	比、セイロン、印、タイ、印支、マレーシア、ニューギニア、豪北部、フィジー諸島、サモア諸島	小笠	石、西、与	広範に分布するが、個体数は少ないものと推定される。 [環境庁RDB]全国4457メッシュ中、2メッシュで数百個体、他の2メッシュで数千個体が確認され、総計約7000個体と推定される。 [沖縄県RDB]石垣島では数ヶ所で自生地が確認されているが、自生地は減少している。西表島では3ヶ所の自生地があるが、個体数は非常に少ない。	B	77	36	113								II	危急
17			テウオサキソウ	台、比、ヒマ、ア、タイ、パ、タム	-	沖、石、西、与	広範に分布するが、個体数は極めて少ないものと推定される。 [環境庁RDB]調査では現況に関する資料が得られなかった。現存個体数は250未満であると推測される。 [沖縄県RDB]沖縄島では1ヶ所、石垣島では数ヶ所、与那国島では1ヶ所に産するが、個体数は少ない。特に沖縄島では極めて希である。	A	40	37	77								I B	危急
18			ヤエヤマクマガイソウ	中、台、比、東南、印、タイ、印支、マレーシア、グアム、ニューギニア、豪、ニューカレドニア、サモア諸島、フィジー諸島	-	沖、大、伊、東、多、石、西、与、波	広範に分布し、個体数は普通と推定される。 [環境庁RDB]全国4457メッシュ中、現存するのは1メッシュで数個体、他の1メッシュで数十個体、3メッシュで数百個体、1メッシュで数千個体であり、総計約4000個体と推定される。 [沖縄県RDB]沖縄島と北大東島ではそれぞれ1ヶ所に産するだけで、絶滅寸前である。宮古諸島と八重山諸島では各地に産し、しばしば群生するが、自生地は減少している。	B	多数	多数	多数								II	危急
19			コウトウラン	台、比、セイロン、印、タイ、印支、マレーシア、ニューギニア、豪、ソロモン諸島、ニューカレドニア、サモア諸島	-	石、西	広範に分布するが、個体数は少ないものと推定される。 [環境庁RDB]全国4457メッシュ中、現存するのは3メッシュで数十個体、2メッシュで数百個体、1メッシュで数千個体であり、総計約4000個体と推定される。 [沖縄県RDB]ももとは普通に見られたが、近年は個体数が減少している。石垣島では見ることが少なくなってきた。	B		3	3								II	希少